



JASH だより

Japan Alumnae Association of the Sacred Heart

2020
No. 30

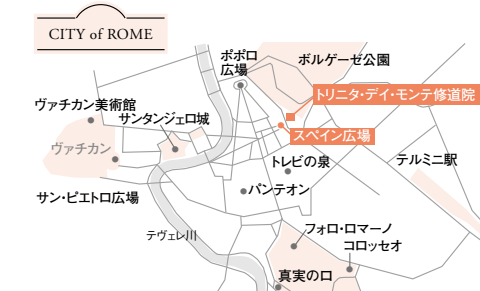
*"Let us live together with
the family of the Sacred Heart."*

AMASC 2018-2022

「感ずべき御母」の故郷 イタリア・ローマへ

AMASCから、二〇二二年のAMASC世界大会をイタリア・ローマで開催する予定とメッセージが発表されました。この学校にも拘わらず聖心を卒業した者は誰もが創立者聖マダレナ・ソフィアの「聖心は一つの家族です」という言葉に親しんでおられることでしょう。この「家族」という言葉は、聖心会をはじめとして全ての聖心の学校の生徒、その卒業生を含めた言葉です。

「聖心の家族」の一員の心に等しく刻まれている記憶は、創立者の説かれたみこころの教えと、世界のどの学校に行っても掲げられている「感ずべき御母—Mater Admirabilis」の聖母像ではないでしょうか。まだ志願者であったマザー・ポーリース・ペルドゥローが描かれたピンク色の衣装に柔らかな巻き髪が見える若き日のこの聖母像は一八四〇年代にローマ市内のスペイン広場にあるTrinita dei Montiの聖心の廊下に幼い生徒たちにも手伝われながら描かれ、創立者にも愛され全ての聖母像となりました。「ここに描かれた若いマリアのお姿に、創立者が目指した女性の理想がうかがえるからです。」(注…「家庭の友」2016・5シスター新庄記)毎年十月二十日のマートルの



さて、マザー・ペルドゥローは生涯に数枚のマートルを描かれました。多くの原画はイタリアやアメリカの聖心に掲げられています。現在、Trinita dei Montiの聖心の廊下の横にそれらのミニチュアが飾られています。その最後にあるマートルは「右絵参照 唯一、神殿ではなく、部屋の中におられます。奥の部屋には十字架が見え、そのことからイエスは昇天された後ということが窺えます。明らかに晩年の聖母はしっかりと一点を見上げておられます。聖書は閉じられ、糸巻にはもはや糸は無く、今まさに完成した反物の糸が切れようとしているのです。この聖母像は、聖心の生徒と共にあった若き聖母のたどり着かれたお姿でしょうか。反物を仕上げられるのに一体どれだけの時が過ぎたのでしょうか、その眼差しの先に何を見えておられるのでしょうか。」

「同窓生の聖母」とも呼べるこの聖母像を二〇二二年にローマで実際に御覧になりませんか。

祝日に、世界中の学校で種々の行事と共に祈りが捧げられます。



Old Mater Admirabilis
painted by Pauline Perdrau



「感ずべき御母
(Mater Admirabilis)」原画



ポーリース・ペルドゥローの
サイン



聖堂内の正面玄関には聖心の
マークのステンドグラス



スペイン広場の階段の上にそびえる
トリニタ・デイ・モンテ教会

2019年～2022年 スタディグループからのお知らせ

同窓会の垣根を越えてJASH会員が集い、母校を思いながら今後について語り合い親睦していきましょう、というのがJASHスタディグループです。今回のテーマは「10代の後輩たちに聖心スピリットをどう伝えたいか」です。2・4・6・10月の年4回、合計10回、JASH事務局(聖心女子大学1号館3階)にて開催します。第1回は2019年10月15日(火)10時半より行われ約20名が参加しました。

2020年度の開催日時

4月18日(土)・6月16日(火)
10月17日(土)・2021年2月16日(火)
10時半より／単回参加も大歓迎です。

ご不明な点がございましたらJASHウェブサイト
(<https://www.jash316.com/>)の「お問い合わせ」までどうぞ。

JASH名誉会長挨拶

聖心会日本管区管区長

シスター 宇野 三恵子(み54・宮23)



今、私の心の中では、お二人の方の言葉や生き方が強く響いています。

お二人は、この十月(二〇一九年)にご帰天なさった私たちの大先輩、国連難民高等弁務官として活躍された緒方貞子先生です。生涯をかけて、祖国を失った人々に寄り添い、世界平和構築のために奔走されたお姿を通して、人間にとって最も大切なものは何なのかということを感じておりました。「命が大切。命さえあればやり直せる。」という緒方先生の言葉は、今でも私の人生の大きな指針となっています。国連のお仕事に本格的に関わられる前まで、日本初のAMASCの理事をなさり、JASHをはじめ、世界の同窓会の歩みを導いてくださったその思いを、私たちも引き継ぎなければならないと心に念じました。

もうお二人は、この十一月に日本を訪問くださった教皇フランシスコです。日頃のお姿で拝見する、苦しむ方に寄り添うあり方、真の平和への希求は、各地のミサや集いで宣べられたメッセージを通して、信者のみならず、多くの心々に伝わったのではないのでしょうか。「PROTECT ALL LIFE」という今回の訪日テーマを、日々の現実の中でどのように生きていけばよいのか、自分の安住の地から「出て行きなさい」と絶えず呼びかけられるその言葉に、どのように応えることができるのか、と私たちは問われているのを感じます。

二〇一九年四月より聖心会管区長として、皆様と共に歩めることを嬉しく思います。これからも、お二人のメッセージを心に、同窓会の活動を通して、私たちもイエスのみ心の愛を出会うすべての人々に伝えていくものとなれますようにと願っています。

JASH会長挨拶

日本聖心同窓会会長

村上直子(み59・宮28)



二〇一八・二〇二二のAMASC執行部が打ち出した「Let us live together with the family of the Sacred Heart」という呼び掛けに基づき、今年度JASHでもさまざまな場面で各同窓会会員に「自身が聖心の家族の一員であることを自覚していただくよう呼び掛け」をいたしました。聖心で過ごした学びの日々を、長さを問わず姉妹校同窓会会員であれば例え会合は休会してもJASH H会員でありまた同時にAMASC会員であることは意外と認識されておりません。自身が世界中で共有される一つの教育理念の元で育たれたという経験は、日常生活の中で、または時に仕事をされる場面でも思いがけない出会いと喜びをもたらしてくれることが多々あることでしょう。その世界に通じる「マジック・ワード」となるのが聖マダレナ・ソフィアのお言葉、みこころのマーク、そしてマーテル・アドミラビリスの絵ではないでしょうか。

この二年の間に日本の聖心同窓会がAMASCの員であることを認知されるのに大変尽力された一人の偉大な先輩、小堀玲子元AMASC及び元JASH H会長(み39・宮8)、緒方貞子元AMASC理事(み31・宮1)が帰天されました。お二人がAMASCとJASHとの間にしっかりと築かれた絆をさらに強固なものにすることが、「妹」「娘」「孫」である私たちに残された宿題と思われなりません。

第34回「JASHの日」開催中止のご報告

2020年度JASH役員

- 【会 長】村上直子
- 【副会長】中込伊都子、山田あけみ(み60・宮29)
- 【書 記】川辺祐香、伊部規子(み76・宮45)
- 【会 計】藏原由季子、峰矢淳子(み64・宮33)
- 【監 事】木村恵子、和田美紀(み34・宮42)

*小澤志津子、佐々木麗子、六本木真美、中川和子は任期満了に伴い退任いたしました。

毎年恒例の「JASHの日」に向け、特別プログラムにメッセージをお願いした聖心女子大学学長、各姉妹校校長様方をはじめ茶話会担当のホスピタリティ委員、ボランティアの方々、ミニバザー出店の各同窓会など皆様が準備され、また多くのシスターズ、JASH 会員からご出席の返信を頂戴していました。しかしながら世界的に蔓延し始めた新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大防止の観点から、残念ながら開催中止といたしました。当日ご紹介の予定でしたJASH 新役員は右の通りです。



AMASC 会員との交流「60 年前の聖心の絆」



1965年5月、第1回世界聖心同窓会がベルギーのブラッセルで開催されました。私は、3月に三光町の英語専攻科を卒業したばかりでした。当時のルース・シー院長様のご推薦を受け、その大会に参加しました。ローマから総長様をお迎えしての総会の後、市長夫妻主催の晩餐会があり、私は、着用に替えて出席しました。卒業生である美しい婦人が私を見つけて、その夜、ご自分のお城にお泊まりをさせていただきました。責任者である聖心の校長様からすでにその許可をとっておいてくださったのです。まるで、夢のような出来事でした。大きなお城には、お聖堂まであって、寝室には、天蓋付きの赤いビロードのベッドがあって、メイドさんが終始世話をしてくれました。そして、その家の5歳のThierryという男の子が離れず私につきまわってくれていました。



2019年7月、ドイツに住む長男を訪ねた折り、予め調べておいてくれたこのベルギーのお城を息子と2人、3時間のドライブで訪ねることができたのです。私は、当時の写真を手に、ベルを押し、ドアから顔を出した男性にそれを見せました。彼は、現在の城主Alexandele(70歳)でした。一瞬で彼は、私のことがわかったのです。彼は、当時15歳で寄宿学校に行っていました。両親から何度も私のことを聞いていたそうです。お城に招き入れてくださり、すぐに当時のゲストブックを出してきて、私のサインのあるページを開いてくださったのです。そして、当時5歳だったブラッセルに住む弟さんに電話をしてくれました。あの、私にまわりついていた男の子です。Thierryは、60歳になっていました。彼と私は、電話で英語でなんと30分も話してしまいました。時空を超えた親しみの繋がり、守護の天使の働きとしか思えません。



後日、帰国してから、私のメールに送られてきたのは、当時20歳の私が着物で「さくら、さくら」を踊っている動画！55年前に父上が撮られたビデオをThierryが最近デジタル化したそうです。私は、鳥肌の立つほど感動しました。今や、これは、私の宝物となりました。

より人間的な温かい関わりを大切にしている聖心ファミリーの繋がりの中に生きることができ、国籍、言語、身分を超えて育まれている世界中の聖心に共通している愛のスピリットに改めて敬意を表し、深く感謝する私です。

津久井裕子(三英17)

シスター田中翻訳本紹介



JASH理事会のメンバーシスター田中玲子(み44・宮13)が「ソフィアと旅する」という本を刊行されました。

フランス革命の混乱期を生きた聖マダレナ・ソフィアは、当時の社会の問題点を見つめ、人々に寄り添いかけた。ソフィアが手紙で語りかける言葉は、現代社会に生きる

私達にも多くのヒントを与えてくれます。

中部経済新聞には次のような評が載りました。

「貫かれているのは「あなたの人生の物語の主人公は、あなた自身」。両親から愛されない、友達から裏切られた、望みを達成するだけの能力がない…そんな心の傷を受けて悩む人々へのソフィアの言葉は「自分自身を誰かの、または何かの状況の犠牲者としてみることを、自分に許してはいけません」。今の人生を乱しているこの問題の中に、自分の成長のためにどんなチャンスが隠されているだろうかと考えたい。そんなメッセージは今にも生きる。」

■ドン・ボスコ社刊 1000円。全国のカトリック書店と教文館のほかに、大学キャンパスの宮代館事務室でも販売。一般の書店取り寄せやamazon注文も可能です。

「感ずべき御母」がある風景

聖心姉妹校 7 校を訪ねて



「マーテル・アドミラビリス」と名づけられた聖母マリアの絵の原画は、ローマ市内のスペイン広場にあるトリニタ・ディ・モンテの修道院の壁画で、19世紀半ば頃、一修道女によって描かれたものです。この聖母像は、学院の創立者、聖マダレーナ・ソフィア・バラが目指した女性の理想像を表すものとして親しまれてきました。

この絵は、「希望」のある未来を示すあけぼのを背景に、ふと手仕事をやめて、心を神に捧げる若き聖母マリアの姿です。バスケットの上に伏せられた読みかけの本によって示される「学問」への関心、手にする糸紡ぎ機に表される労働の貴さ…ここに祈り、考え、働くという基本的な人間の生きる姿勢が描かれています。また傍らに咲くユリの花は「清純」の徳を表します。神を信頼して生きた聖母マリアのように、命はぐみ、大切に、神と人への愛にこたえていく女性の品位と使命を象徴しています。(学校法人ホームページより)

札幌聖心女子学院



毎年10月に中学1年生は、学習ホールの「感ずべき御母」の絵にある様々なシンボルから自分のシンボルとなるものを1つ選び、その理由と共に絵に描いて分かち合う。シスター景山によると、「1980年以降、マーテルへの信心が広がり世界各地の聖心女子学院からの希望に応えるために、マザーハウスでは専門の画家の模写を送っていた。(ローマ本部・シスターフィーラン談) 画家の名前はSolinasで、大学のマリアンホール受付の奥の絵、小林聖心の上半身の絵も彼が書いたもの」とのこと。札幌聖心のマーテルの絵も、A. Solinas. Cの署名とROMA 1963の日付があり、本校の創立に合わせてローマで描かれ、送られてきたとわかり、感謝の気持ちがより一層深くなった。

聖心女子学院



かつては本館から聖堂にわたる渡り廊下の突き当りにあったが、あまり普段人が通る場所ではなかった。現在は中央校舎の新しい大きな壁に掲げてある。ここは生徒たちが毎日出入りする場所で、日々マーテルが目にはいるところだから。三光町のマーテル像も、大学などと同じくローマから送られた模写の1枚と思われる。高等科の校舎には小さいサイズのマーテル画と小さい立体像もある。

聖心女子大学

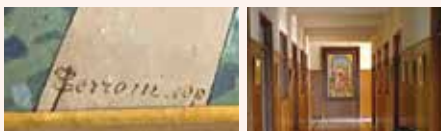


大学受付があるマリアンホール下の、校舎と御聖堂をつなぐ学内の中心部に飾られているこのマーテルは右下にC.A.Solinasという署名がある。おそらく札幌と同じく、ローマから送られた模写のうちの1枚。

小林聖心女子学院



学院の玄関ともいえる御聖堂のある本館1階。バーラーの並ぶ長い廊下の正面にあるマーテルはFerroniという画家のサインがあり、小林の全身像のマーテルはこの方の作品である。



聖心インターナショナルスクール



校内には2つのマーテルの御絵があり、その中心となっているのが現在 middle-high school エリアである。この御絵もまたA.Solinas.CのサインとROMA 1963が記されている。額は新調されているようではあるが、鮮やかな色彩が健在である。ここには 'To the Memory of Mira Densel, She walked this Earth by the Light in the Sky' (ミラ・デンセルの記念として。彼女はこの世を天の光に導かれて歩んだ)と書かれている。もうひとつは幼稚園校舎にプリントされたものが何気なく飾っている。

不二聖心女子学院



一番大きな絵は、パーラーにある馬堀方眼喜孝画伯の作。歴代天皇の肖像画、1958年から1986年まで使用されたお礼(聖徳太子・伊藤博文・岩倉具視)の肖像画等を描かれた方。画伯と懇意にされていた卒業生の保護者が特別に依頼し、シスター木村すみ子校長の時代に学院への感謝としてご寄贈いただいた。ちなみに、不二農園開祖の岩下清周の長女(日本人初の聖心会修道女マザー岩下亀代子令姉)は岩倉家に嫁がれた。

旧聖心女子専門学校



2018年度をもって閉校した旧聖心女子専門学校は現在、聖心会みこころセンターと聖心女子学院の生徒たちの活動の場として使われている。この正面玄関を入るとすぐに2階へと続く階段が目に入り、その踊り場には印刷されたマーテルの御絵が飾られている。

専門学校であった時と今も変わらず、行き交う生徒たちを見守っている。

「マーテルはどこ？」

昨年4月、ニューヨークからの若いAMASC会員が言ったひとことでした。仕事で東京に行くので、その時ぜひそちらの聖心を見学させて欲しいと、事前に彼女から連絡がありました。当日、JASH役員とみこころ会員の大学生の協力も得て、桜満開の大学キャンパス・パレス・教室などを案内していた時でした。「マーテルはどこ? お聖堂に行きたい」と言われました。この時「マーテル・アドミラビリス」は、私たち聖心ファミリーの合言葉の様に感じると共に、今更ながらにかけがえの無い私たちのマーテル像と改めて思いました。春頃の文章にもありますが、聖心の世界共通の「マジック・ワード」です。描いた当時は25歳のマザー・ポーリース・ベルドゥロー。若い女性が大好きなピンクのドレスのマリア様、世界中を探しても見当たらない。私たちだけの聖母マリアです。

聖心会 みこころセンター



共に学び、祈り
分かち合う場

〒108-0072 東京都港区白金4-11-1
TEL・FAX: 03-6277-2561
Eメール: rscjmikokoro.center@gmail.com
HP: <http://www.m-sacred-heart.com/>

学校法人聖心女子学院 生涯学習センター

「いつでも、どこでも、誰でも学べる」それが「生涯学習」です。

緑豊かな広尾のキャンパスの中で楽しく学びませんか。

<http://www.honbu-sacred-heart.jp/llc/>

同窓会報告



「聖心ファミリー 姉妹校の輪」

茂仁香会

会長 萩麻里子（茂仁・宮33）

茂仁香会は、設立五十周年を終え、三千名を超える会員と新たな時代へと歩み始めました。本部・東京支部ともに、同窓生の親睦を深め、母校に寄り添い、社会に貢献することを柱に活発に活動しています。札幌聖心友愛セールをはじめ、東京でのミニバザーなど、多くの皆さまが楽しくご参加くださることに感謝しております。国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みにおいても、母校の熱心な活動に協力していきたいと思っております。



2019年度本部総会



東京支部総会



友愛セール

みこころ会

会長 巻波香子（み57）

昨年は多くの方が被災されましたが、三光町も例外ではありませんでした。みこころ祭が台風で中止となりバザーがなくなってしまう、急遽翌週の役員会でバザーをすることになりました。突然のことでしたが当日は大変な賑わいで大成功でした。三光会にも参加していただき、JASHの繋がりを生かしました。

聖堂も豪雨のために使えなくなり、追悼ミサは初等科の講堂で執り行いました。久しぶりに初等科に足を踏み入れた同窓生の、懐かしくて良かったという声もあり、和やかな雰囲気の中で終えることができました。困難にあつて、皆で力を合わせるこの大切さを感じた一年でした。



2019追悼ミサ講堂



2019役員会バザー

真理茂会

会長 山屋俊恵（真21）

本年は真理茂会総会の年でした。札幌聖心女子学院英語専攻科が休科になり早二十三年。活動費並びに役員の深刻な人手不足という問題から会の継続は難しく結果、二〇二〇年三月をもって活動を休止するという決断に至りました。これから真理茂会員はJASH/AMASCの一員として皆様と共に過ごさせて頂きます。今まで真理茂を愛し支えて下さった皆様に深く感謝致します。今後の真理茂会のお問合せは、日本聖心同窓会のウェブサイトよりお願い致します。



真理茂総会



三光会

会長 大野美稚子（み72・三英42）

二〇一九年度の三光会の活動は、多岐に渡る年代の数多くの方々のご協力を頂き、総会・チャリティーバザー・追悼ミサを例年通りの規模で行うことが出来ました。また、姉妹校同窓会バザー参加の折には「聖心ファミリー」の絆を強く感じる事が出来ました。母校閉校の変革期にご尽力頂いた前役員や会員の皆様への感謝を胸に、新役員一同、会員の皆様にとって必要とされる今後の同窓会の在り方を考えながら、精一杯尽くして行きたいと思っております。



校舎入り口



追悼ミサ



バザー

International School of the Sacred Heart
Growing with Courage and Confidence
info@ish.ed.jp www.ish.ed.jp

聖心女子学院 SEISHIN JOSHI GAKUEN
初等科・中等科・高等科

多様に、グローバルに、より良く生き抜く。

2020年度入学試験

- 初等科1年 入学試験
- 初等科5年 転入・編入試験
- 中等科1年 帰国生入試

http://www.tky-sacred-heart.ed.jp/

札幌聖心女子学院 中学校・高等学校

全校生徒の1/3が寄宿生で全国から集まっています。中学・高校の入学試験のほか、年間を通して転入・編入試験を行っています。校舎・寄宿舎の見学は随時可能。事前にお問い合わせください。

札幌聖心 検索

ドウシェーン会

会長 川井裕子 (下25・宮33)

五月の総会では懐かしい恩師の授業を受け、九月には墓所の清掃と祈りの会、十一月には大勢の卒業生が「秋のつどい」に協力しました。

二〇二〇年は不二聖心の前身の温情舎創基百年の年です。聖マダレナ・ソフィア、聖フィリピン・デューシェン、そして温情舎初代校長岩下壮、神父様の足跡を辿るフランス、イタリアへの「ルーツの旅」にて「聖女の思いを受け、先人への感謝と共に、繋ぐ、架け橋の使命として」の二年間の活動を締め括ります。



秋のつどい



墓所の清掃(岩下家)と祈りの会



ジョウニーにて

総会模擬授業

語学校・ISSHアラムネ

会長 Mayling Woo Clements (一18)

現在母校は建築物の建て替えという莫大なプロジェクトを抱えています。ISSHアラムネはこのプロジェクトに対して支援金の調達など協力していきたいと思っています。また今年行われる様々なイベントに関しても積極的に活動したいと思っています。海外在住のアラムネが2020東京オリンピックを機に訪日する際、母校へもお招きできるような学校のご協力をいただき同窓会などを企画してアラムネ一同母校の為に活動できるように連携を図ります。



名前は左から右へ:
Meg Higuchi Sano, Kyungae Kay Moon, Mayling Woo Clements, Mimi Hayashi Chang, Mary Mihoko Hayashi, Ailing Chang



小林みこころ会

会長 立岡幸子 (小み51・宮33)

二〇一九年の六月より新役員で小林みこころ会が始まりました。十二月二十三日には今回で五回目となる「ようこそ小林の丘へ」が開催され、二〇名の市民の方にご参加いただきました。今年は修道院が移転されたために、シスター方が憩いの場としてお使いになられていたパーラーを、ご覧いただけました。

十二月にはオーストラリアから三十七名の留学生と四名の先生方が来られました。うちわに和紙を貼るデコパージュの体験を通して日本の文化に触れていたいただけたと企画致しました。

「ようこそ小林の丘へ」見学会のシスター・瀬瀬校長ごあいさつ



留学生歓迎会で作成したうちわのデコパージュ



宮代会

会長 ラウリア佳子 (み64・宮33)

宮代会は二〇二二年に七〇周年を迎えます。それに伴い理事会では記念事業実行委員会を立ち上げました。その第一回の行事として、十一月四日に秋川雅史チャリティーコンサートを開催、好評をいただきました。例年通り留学生昼食会、宮代祭、追悼ミサ、総会、新幹事会と行事が続く中、十月にご帰天されました宮代会初代会長も務められた緒方貞子さんの追悼ミサを十一月に大学、聖心会、JASHと共催しました事は今年度の忘れ難い記憶となりました。



秋川雅史チャリティーコンサートポスター



宮代会会員



ラッフル・ワンテーブルジョップ

創立 97周年

小林聖心女子学院

2021年度 入学試験

【小学校入試情報】

- ◇小1入試 A日程・B日程
- ◇転編入試
- ◇帰国子女・転居による年度途中の転編入については、ご相談ください。

【中学校入試情報】

- ◇中1入試
- ◇転編入試
- ◇帰国子女転編入試

小林聖心 検索



富士山の裾野に広がる
2.1万坪のキャンパス

全校生徒の約半数が寄宿生。
17都府県から生徒が集います。
帰国生の転編入も積極的に受け入れています。

学校法人聖心女子学院
不二聖心女子学院
中学校・高等学校
Fuji Sacred Heart School
Middle School & High School

聖心女子大学



2019(平成31)年度入学者より、
学部名を「文学部」から「現代教養学部」に変更
「英語英文学科」の名称を
「英語文化コミュニケーション学科」へ変更



2019年度

JASHの1年

- 定例役員会 毎月第2火曜日 全11回
- 理事会 隔月第3火曜日 全6回
- 臨時役員会 随時
- JASHグッズ販売
- 古切手処理

2019

4

- 三光会総会出席(2019年4月13日)

5

- ドゥシェーン会総会出席(2019年5月11日)
- 茂仁香会東京支部総会出席(2019年5月18日)
- みこころ会総会出席(2019年5月18日)
- 定例評議員会出席(2019年5月21日)
- 大学聖堂献堂60周年記念ミサ(2019年5月23日)
- 小林みこころ会総会出席(2019年5月25日)
- Sr.宇野との懇談会(2019年5月28日)
- 聖心インターナショナルスクール卒業式出席(2019年5月31日)

6

- 三光会チャリティーバザー参加(2019年6月1日)
- 大学学生相談室創設50周年記念講演会(2019年6月3日)
- 聖心女子大学災害復興支援チャリティデー参加(2019年6月15日)

8

- 真理茂会総会出席(2019年8月24日)
- 第1回AMASCカフェ(2019年8月28日)

9

- 宮代祭参加(2019年9月7日)
- 映画上映会「人生をしよう時間」(2019年9月20日)

10

- 第1回スタディグループミーティング(2019年10月15日)
- 小林みこころ会東京支部同窓会出席(2019年10月26日)
- 聖心会ミッシヨナリー雑誌谷墓地墓参(2019年10月29日)

11

- AMASCニュースレターへの寄稿(2019年11月6日)
- 宮代会追悼ミサ出席(2019年11月19日)
- 緒方貞子さん追悼ミサ(2019年11月27日)
- 第2回AMASCカフェ(2019年11月30日)

12

- 臨時評議員会出席(2019年12月10日)



2019年度理事

2020

1

- ボランティアグループ古切手作業(2020年1月18日)

2

- 第2回スタディグループミーティング(2020年2月18日)中止
- 宮代会総会出席(2020年2月22日)中止
- 茂仁香会新会員歓迎会プレゼンテーション貸出
- 小林みこころ会新卒生歓迎会プレゼンテーション貸出
- ドゥシェーン会入会式プレゼンテーション貸出
- みこころ会新入会員歓迎会プレゼンテーション貸出

3

- 聖心女子大学卒業式出席(2020年3月14日)中止
- 第34回「JASHの日」開催(2020年3月17日)中止
- 定例評議員会出席(2020年3月24日)
- 「JASHだより」30号発行(2020年3月31日)

写真で綴る

委員会活動 Report

■JASH-AMASC 委員会



第1回AMASCカフェ
(8月28日学寮の食堂オリブにて)



第2回AMASCカフェ
(11月30日宮代ホールラウンジにて)

■ホスピタリティ委員会



JASH 事務室での活動日の様子

■資料委員会



心よりお悔やみ申し上げます。

小堀 玲子(み38・宮8)

元AMASC理事(1978-1985)、元AMASC会長(1982-1986)及び元JASH会長(2006-2010)が2018年11月20日に逝去されました。

緒方 貞子(み31・宮1)

元AMASC理事(1974-1978)が2019年10月22日に逝去されました。



2019年度
理事会メンバー

- JASH名誉会長 Sr. 宇野三恵子(み54・宮23)
- 聖心会代表 Sr. 田中玲子(み44・宮13)
- JASH会長 村上 直子(み59・宮28)
- JASH副会長 小澤 志津子(み57・宮26)*
- 中込 伊都子(三英27)
- 佐々木 麗子(宮41)*
- 川辺 祐香(み56・宮40)
- 六本木 真美(み52・宮34)*
- 藏原 由季子(み53・宮35)
- JASH書記 中川 和子(み77・宮31)*
- JASH会計 木村 恵子(み19・三英28)
- 荻 麻里子(み11・宮33)
- JASH監事 山屋 俊恵(真21)
- 茂仁香会会長 巻波 香子(み57)
- 真理茂会会長
- みこころ会会長

- 三光会会長 大野 美稚子(み72・三英42)
- 語学校・ISSHアラムネ会長 Mayling Woo Clements(み81)
- 宮代会会長 ラウリア 佳子(み64・宮33)
- ドゥシェーン会会長 川井 裕子(み25・宮33)
- 小林みこころ会会長 立岡 幸子(み51・宮33)
- 茂仁香会東京支部長 小山 圭美(み19・宮41)
- 真理茂会東京支部長 市岡 牧(真23)(~9月)
- 真理茂会副会長兼東京支部長 末崎 修子(真16)
- (10月~真理茂会東京支部長を兼任)
- 小林みこころ会東京支部長 岡森 あかね(み56・宮38)
- ホスピタリティ委員会委員長 小泉 マヤ(み62・宮31)
- JASH-AMASC委員会委員長 林 美穂子(み88・宮42)
- 資料委員会委員長 吉川 富久子(み51・宮33)

*任期満了による退任 JASH 役員

海外における「日本聖心同窓会 (JASH) 会員の集い」

世界各地に日本の聖心同窓生が暮らし、地域ごとにグループを作って親睦を深め、助け合っています。その中でも、下記の地域には「JASH 会員の集い」があり、JASH は代表者の連絡先を管理しています。また、宮代会海外支部 (シンガポール、ワシントン、南カリフォルニア、シカゴ) でも JASH 会員が一緒に活動しています。

海外生活を始める方は、渡航前に、ぜひ JASH にお問い合わせください。

■海外「JASH 会員の集い」の所在地

アメリカ合衆国	ニューヨーク
	サンフランシスコ / バイエリア
	シカゴ
	アリゾナ
英国	
フランス	パリ
ドイツ	
オーストラリア	シドニー
タイ	バンコク

※上記以外の地域で活動されている同窓生のグループがありましたら、JASH にご登録ください。「JASH だより」や JASH ウェブサイトで、グループの存在を JASH 会員に広くお知らせし、新しく渡航される同窓生との橋渡しをします。

※各地の活動報告は、JASH ウェブサイトに掲載しています。



ニューヨーク



ドイツ



サンフランシスコ / バイエリア



アリゾナ

from 資料委員会

お宝写真館

「刺繍校章」



これらの校章は、1945年から1965年に聖心女子学院で使用されました。1960年制服が変わり、これに伴い校章も刺繍校章から現在の校章に変わりました。

これらの校章について、詳しいことをご存じの方は、お知らせください。

2020年9月の宮代祭で展示予定です。

■JASH ボランティア募集

【お手伝いいただく内容】

「JASHの日」などのイベント、翻訳、海外からの会員の案内、通訳、車での送迎、宿泊提供など。

JASHの活動のお手伝いをしてくださるボランティアを、常時募集しています。申し込みは、JASHウェブサイト「JASHボランティア募集」より。

■古切手も集めています！

AMASCは各国の同窓生から古切手を集め、スペインの同窓会が古切手市場で換金して、AMASCの活動に役立てています。使用済切手の周囲5ミリほどを残し、JASH事務室までお送りください。



〔シリーズ〕同窓会活動の場を訪ねて②

小林みこころ会館

阪急今津線小林駅から南西を見上げると小高い丘が目に入ります。ロザリオヒルと名づけられたこの風光明媚な一角に会館が建てられたのは1997年。

陽当たりと眺望に恵まれた2階の小林みこころ会室で、毎月、役員会が開催されます。



小林みこころ会室



学院の聖堂を思わせる明るい色調のステンドグラスが目を引く(階段踊場)。



120名を収容する1階のヴェロニカホールは、総会、幹事会が開催されるほか、各種講習会やクラス会など多目的に使用。

JASH だより
Japan Alumnae Association of the Sacred Heart
2020 No.30

jash316 検索



JASH Website

JASHに関する情報をいち早く掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<https://www.jash316.com/>

▼ AMASCウェブサイトはこちら
<http://www.amasc-sacrecoeur.net>

発行日 2020年3月31日

発行所 日本聖心同窓会 (JASH)

発行人 村上直子

編集 JASH役員

住所 東京都渋谷区広尾4-3-1

聖心女子大学 JASH事務室

FAX 03-3407-0671

制作 (株) 梁プランニング

学校法人聖心女子学院教育ネットワーク
Sacred Heart Six Sister Schools



日本国内の聖心姉妹校のフェイスブックページをご存知ですか？
ぜひご覧ください。

<https://www.facebook.com/SeishinNetwork>

学校行事など日頃の学校の様子やトピックスを中心に姉妹校6校の様々な情報を発信しています。